

ISO9001：2015年版移行取組中

川口電気株式会社 (ISO9001:2008認証登録)

品質管理責任者 谷口 豊昭

川口電気株式会社は福井県敦賀市に本社を置き、2003年にISO9001を取得しています。

私が、40年勤めた会社を定年退職し、電気設備業では地域のリーダー企業の現在の会社に再就職して3ヶ月半。ISO9001:2015年版移行が今の私の仕事です。ISOには寡聞浅学な私でしたので、先ず10月末にIntertek様で開催された「移行セミナー」を受講、しかしながら規格要求事項を初めてみるような私には、移行に対してどう取組んで良いのかは五里霧中の状態でした。そんな時にフセハツ工業様の品質マニュアルをWebで見つけ、まさに霧の中に一条の光を得た心境でした。このマニュアルが大いに参考になり1か月強で移行の原案を完成させることが出来ました。

後日、フセハツ工業様がIntertek様の認証先と知りました。フセハツ工業吉村社長様にはこの紙面をお借りして御礼

申し上げます。また、相談会で理解を深めさせていただきましたIntertek様有難うございました。今年10月の移行審査受審に向け取組んでいきます。



本社（敦賀市）

▶ <http://kawaguchi-denki.jp/>

震災を経験して

諫山工業株式会社 (ISO9001:2008、ISO14001:2004認証登録)

品質管理室長 橋本 光生

弊社は、公共工事が主体の建設業者で熊本県熊本市に本社があります。道路や河川及び下水道などのインフラ整備に携わり、今年で設立70周年を迎えます。2011年、ISO9001、ISO14001と一緒に取得しています。

昨年4月、熊本を襲った地震は、前例のない強い地震でした。震度7クラスの地震が、僅か28時間弱の間に2度、しかも同じ町に発生したのです。写真は震源地のすぐ近くで、最も被害の大きかった上益城郡益城町の県道です。メインの避難場所である益城町総合体育館につながるルートで、支援物資を運ぶため一刻も早い復旧が望まれました。本震が発生して2日後の夕方、国土交通省から打診を受けた弊社ともう1社が作業を分担し、復旧工事が急ピッチで進められました。時おり強い余震が起こる中、徹夜の作業で何とか24時間後に舗装まで完了させることが出来ました。

今回の震災では、暖かい励ましのお言葉や、水や食料などの支援物資を多方面よりたくさん頂きました。また、ボランティアの方々、警察や消防、ゴミ収集車まで、県外の皆様が数多く応援に駆けつけてくれました。それを目にする度に目頭が熱くなり励みとなりました。ご支援頂いた多くの皆様に関心から御礼申し上げます。本当にありがとう御座いました。



震災直後の復旧工事現場

▶ <http://isayamakougyo.jp/>